

中間評価概要と対処方針

XMLマルチメディアサーバシステムの研究開発	受託者：(株)メディア フュージョン	研究開発期間：H14年10月～H16年3月 (1年6ヶ月)
<p>【全体的な進捗状況】</p> <p>当初の計画（又は変更した計画）以上に進捗している。 概ね当初の計画（又は変更した計画）通り進捗している。 一部を除き、概ね当初の計画（又は変更した計画）通り進捗している。 当初の計画（又は変更した計画）通り進捗していない。</p>	<p>【対処方針】</p> <p>現行どおり継続する。</p>	
<p>【所見及び改善事項】</p> <p>計画の変更点は以下のとおりである。</p> <p>1．圧縮方式 当初、辞書型＋統計型であったが、辞書型のみでも効果が期待できるため、統計型の採用を取り止めた。</p> <p>2．アプリケーションサーバ機能 市場性を考慮した基本機能の搭載による高速化を目指す。 短期間で研究内容を補正し、開発を進めた点は評価できる。しかし、当初の計画の設定が安易であった点は否めない。</p>	<p>【受託者側の対応方針】</p> <p>・指摘の通り、当初計画の変更を行う必要性が発生したのは事実であり、計画の綿密性に若干欠ける部分があったと反省しているが、市場ニーズ調査による製品力を考慮したために発生する最善の選択であったものと考えている。</p>	